

公 示

「東京医科大学学長選出規程」第 9 条に基づき、次期東京医科大学学長の氏名、選考理由
選考過程を下記のとおり公表します。

記

1 次期学長氏名

宮澤 啓介（牧野記念病院在宅診療部部长、本学理事、元生化学分野主任教授）

2 選考理由及び選考過程

【選考理由】

東京医科大学学長候補者選考委員会から推薦のあった学長候補者に対して、選考委員会報告書のほか、令和 6 年 6 月 25 日に開催された臨時理事会において実施されたプレゼンテーション及び質疑応答、さらには令和 6 年 7 月 16 日に開催された臨時評議員会において実施された所信表明及び評議員からの意見を踏まえ審議した。審議の結果、宮澤啓介氏は、臨床医学及び基礎医学双方の分野に所属した経歴や、副学長として大学運営にも携わった経験を有しており、これらの豊富な実績に基づき本学のミッションを実践するための明確なビジョンと方策を示したことから、本学が選出にあたって掲げた適性要件、能力及び資格に最も合致する人物であると評価された。よって、次期東京医科大学学長として決定した。

【選考過程】

令和 6 年 1 月 23 日 臨時理事会において外部有識者 2 名を含む東京医科大学学長候補者選考委員会の委員を決定した。

令和 6 年 6 月 25 日 臨時理事会において、東京医科大学学長候補者選考委員会から 3 名の学長候補者の報告があり、同日付けにて候補者 3 名によるプレゼンテーションと質疑応答を実施した。

令和 6 年 7 月 9 日 理事による投票結果を受け、臨時理事会において次期学長予定者を決定した。

令和 6 年 7 月 16 日 臨時評議員会において、学長予定者による所信表明を実施し、評議員から意見を徴取した。

令和 6 年 7 月 23 日 改めて理事会における選考の審議を経て次期学長を決定した。

以上

令和 6 年 7 月 23 日

学校法人 東京医科大学

理事長 矢 崎 義 雄